
公衆衛生看護活動論 I

岩村 龍子 教授
岡本 光代 准教授
辻本 宏美 助教

3年次前期・必修

1単位・30時間

【概要・目的】

公衆衛生看護活動の対象の特性、ライフステージ別、健康レベル別にどのような公衆衛生看護活動が展開されているかを理解する。

【到達目標】

- 1) 公衆衛生看護活動における対象の特性を説明する。
 - 2) ライフステージ別、健康レベル別の公衆衛生看護活動を説明する。
 - 3) 病院・施設における看護と地域における看護の継続、連携のあり方について考察する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 公衆衛生看護活動の基本と対象のとらえ方
 - 2) 公衆衛生看護活動の展開方法
 - 3) ～ 4) 母子保健活動
 - 5) 成人・高齢者保健活動
 - 6) 難病保健活動
 - 7) ～ 8) 感染症保健活動
 - 9) ～ 10) 精神保健福祉活動
 - 11) ～ 12) 健康危機管理
 - 13) 公衆衛生看護管理
 - 14) 公衆衛生看護活動の現状と課題
 - 15) 病院・施設における看護と地域における看護の連携
-

【評価】

筆記試験（90%）、出席状況および授業への参加態度など（10%）により評価する。ただし、筆記試験は6割以上の得点を必要とする。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第3版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論1第3版」日本看護協会出版会
宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学各論2第3版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

適宜紹介する。

【その他】

- ・事前に教科書の該当ページを読んで履修すること。